

主担当部：県土整備部

（現状と課題）

県民の道路整備に対する期待は大きいものがありますが、三重県の整備状況は道半ばであり、県北中部地域を中心とする好調な経済活動を支援する広域幹線道路の整備や災害時に対応できる安全・安心のためのリダンダンシー（※注1）機能の確保等のため、骨格となる道路とこれらにアクセスする県管理道路等を含む道路ネットワークの整備が急務です。

また、既にお木曳き等式年遷宮の諸行事が始まっており、御遷宮を迎える2013年（平成25年）には県内外から多くの来訪者が予想されます。このため、伊勢への、または伊勢から世界遺産（熊野古道）を有する東紀州地域へのアクセスルートの重点的な整備をはかり、地域資産を生かした交流・連携を広げて、新しい文化の創造と地域の活性化に結びつける必要があります。

（重点事業のねらい）

式年遷宮を契機に来訪者がさまざまな三重の文化にふれあえるよう高速道路や直轄国道、さらにこれらにアクセスする県管理道路等を道路ネットワークとして整備することにより、道路利用者の利便性が向上し、京都から伊勢までが約2時間に短縮されるなど、産業活動や地域資産を生かした文化・観光面での交流・連携がさらに広がり、三重のすばらしさの発信につながります。

また、「新たな命の道」の整備により東紀州地域の安全・安心の確保にもつながります。

（重点事業の取組目標）

目 標 項 目	御遷宮に向けた幹線道路の新規供用延長（累計）
---------	------------------------

〔目標項目の説明〕

- ・ 県内の幹線道路（高速道路・直轄国道・県管理道路・基幹農道）の新規供用延長（累計）
（県土整備部高速道・道路企画室調べ）

（具体的な取組内容）

取組方向1：高速道路網の整備促進に向けて

- （1）高速道路の整備に必要な用地の関係者に対して、中日本高速道路株式会社および国土交通省と連携し、用地の提供について地権者の理解と協力が得られるよう調整します。

- (2) 高速道路整備の進捗に合わせ、関連して必要となる河川および砂防施設等を整備します。

取組方向 2 : 直轄国道の整備促進に向けて

- (1) 県内の幹線道路網を形成する直轄国道および高速道路(新直轄)と一体となり広域的な高速道路ネットワークを形成する直轄国道の整備を促進します。

取組方向 3 : 県管理道路等の整備推進に向けて

- (1) 県内道路ネットワークの骨格をなす高速道路および直轄国道へのアクセス道路となる幹線道路の整備を進めます。
(2) 広域幹線道路である国道等と接続する広域農道の整備を進めます。

県が他の主体に期待する取組

国が、道路網の骨格を形成する幹線道路の整備を行います。
市町が、地域生活に直結する道路整備を行います。

- (注 1) : リダンダンシー : 自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、あらかじめ交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段を用意すること

平成19年度 重点事業要求事業一覧

(単位：千円)

事業担当部名	事業名	施策番号 (資料の頁)	施策名	平成19年度 事業費
農水商工部	広域農道整備事業費(公共事業(幹線道路網整備))	532 (p.113)	元気で魅力ある農山漁村づくり	504,000
農水商工部	揮発油税財源身替農道整備事業費(公共事業(幹線道路網整備))	532 (p.113)	元気で魅力ある農山漁村づくり	72,450
農水商工部	ふるさと農道整備事業費(県単公共事業(幹線道路網整備))	532 (p.113)	元気で魅力ある農山漁村づくり	202,000
県土整備部	高速道路に関連する用地取得対策事業	551 (p.121)	道路網の整備	200,000
県土整備部	高速道路に関連する施設整備事業	551 (p.121)	道路網の整備	70,000
県土整備部	直轄道路事業	551 (p.121)	道路網の整備	3,944,000
県土整備部	高速道路網に関連する直轄道路事業	551 (p.121)	道路網の整備	5,867,000
県土整備部	幹線道路網整備事業(県管理道路)	551 (p.121)	道路網の整備	3,220,000
(事業計)				14,079,450

